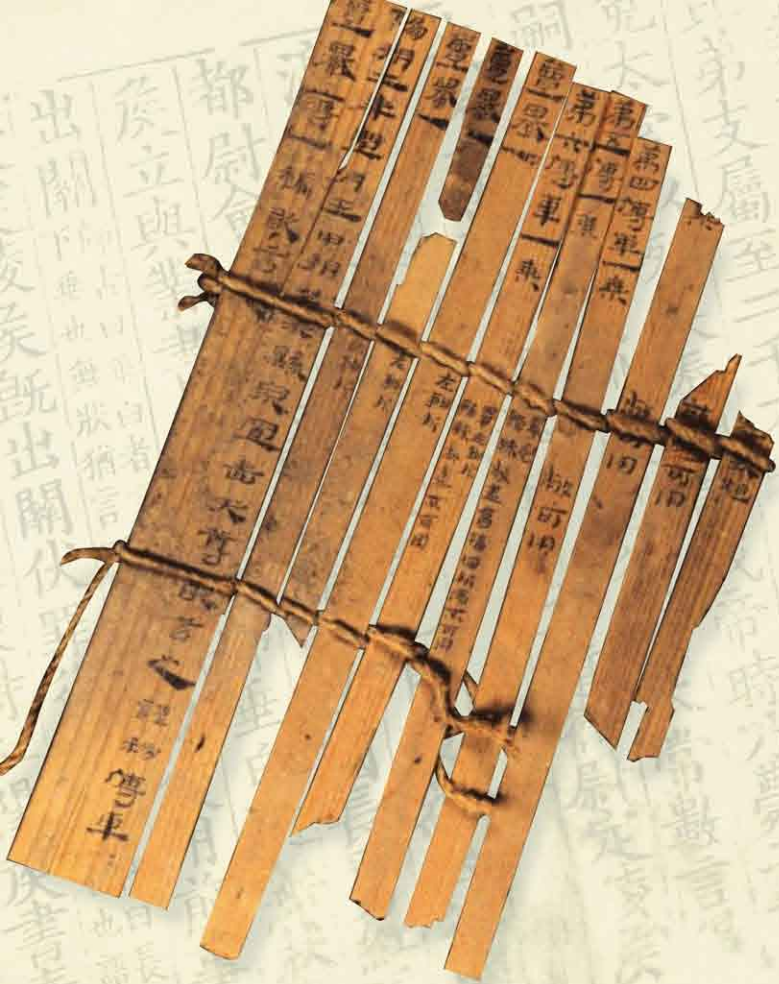


「漢字文化三千年」 国際シシポジウム



2007年

12月10日(月)～12日(水)

会場: 京都大学国際交流ホール

使用言語: 日本語・英語・中国語

- セッション一 12月10日(月) 14:00～17:00
漢字と情報学 -新しい世界へ-
- セッション二 12月11日(火) 9:30～12:30
漢字のはじまり -東アジア古代の文字使用-
- セッション三 12月11日(火) 14:00～17:00
木簡が語る漢字学習 -役人は漢字をどう学んだか-
- セッション四 12月12日(水) 9:30～12:30
漢字のシルクロード -敦煌から正倉院へ-
- セッション五 12月12日(水) 14:00～17:00
蔵書が開いた近世 -宋版の役割-

来聴無料

京都大学21世紀COEプログラム

「東アジア世界の人文情報学研究教育據点」

-漢字文化の全き継承と発展のために-

[問い合わせ先]

京都大学人文科学研究所

〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町47 Tel.075-753-6997 Fax.075-753-6999

「漢字文化三千年」

国際シレポジウム

プログラム

セッション一：漢字と情報学—新しい世界へ 進行：Christian Wittern

12月10日(月)
14:00~17:00

永崎研宣 (山口県立大学) 佛教学文献研究におけるコラボレーションの可能性と問題点について
明星聖子 (埼玉大学) 文学研究資料の保存と編集
Christoph Harbsmeier (Oslo University) A scheme of Chinese conceptual schemes. The Thesaurus Lingua Sericae
Christian Wittern (京都大学人文科学研究所) Lessons learned from the "Knowledge-base of Tang Civilization" project

セッション二：漢字のはじまり—東アジア古代の文字使用 進行：岡村秀典

12月11日(火)
9:30~12:30

岡村秀典 (京都大学人文科学研究所) 漢字のはじまりと拡散
井上直樹 (京都府立大学) 朝鮮三國の金石文
森下章司 (大手前大学) 金石文の傳播と古代日本
稲本泰生 (奈良国立博物館) 東アジアの佛教と金石文

セッション三：木簡が語る漢字学習—役人は漢字をどう學んだか 進行：富谷至

12月11日(火)
14:00~17:00

渡辺晃宏 (奈良文化財研究所) 日本古代の習書木簡と下級役人の漢字教育
李成市 (早稲田大学) 新羅の識字教育と『論語』
Enno Giele (ドイツ・ミュンスター大学) 古代の識字能力を如何に判定するのか—漢代行政文書の事例研究
富谷至 (京都大学人文科学研究所) 書記官への道—漢代下級官吏の文字習得

セッション四：漢字のシルクロード—敦煌から正倉院へ 進行：高田時雄

12月12日(水)
9:30~12:30

高田時雄 (京都大学人文科学研究所) シルクロード漢字文化の東西
王三慶 (台湾成功大学) 敦煌の書儀文献と東アジア文化
大津透 (東京大学) 吐魯番文書と日本律令制
落合俊典 (国際佛教学大学院大学) 敦煌の佛典と奈良平安寫經—分類學的考察—

セッション五：藏書が開いた近世—宋版の役割 進行：井波陵一

12月12日(水)
14:00~17:00

陳先行 (中國上海圖書館) 宋版の魅力
高橋智 (慶應義塾大学ス道文庫) 宋版の受容と日本の漢學
陳捷 (國文學研究資料館) 「日本における宋版—との出会い」
井波陵一 (京都大学人文科学研究所) 本をめぐる交流—王国維と神田喜一郎

2007年12月10日(月)~12日(水)
於 京都大学国際交流ホール

京都大学21世紀COEプログラム「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」